



浄福寺
 門徒会発行
 ☎ (025) 536-2532
 FAX (025) 536-2674
 ✉ jofukuji@alpha.ocn.ne.jp

『赤倉ホテルの念仏ばあちゃん
 ～有縁講のあゆみ～
 の映画が完成』

慶応元年、信仰心の厚い尾張門徒の家に生まれた平井シヨウさんは、父親から「中の二十歳までに信心をいただきなさい」と厳しく育てられ、東京へ嫁いでもお寺参りを欠かしませんでした。昭和19年、戦況悪化の最中、娘の村越静江さんの嫁ぎ先である赤倉ホテルへ疎開されました。越後と言



えば親鸞聖人ゆかりの地、シヨウウさんはいてもたってもいられず、ホテルから抜け出して真宗寺院を訪ねてはさすらい、お念仏の道をさらに深めていかれました。シヨウさんは一度お寺参りに出かけるのとホテルに帰らず、お寺で寝泊まりを繰り返されたこのことです。ですからそんなシヨウさんを孫の厚文さんもよく高田高校の帰りに迎えに行ったそうです。また、ある時に静江さんが、これ以上お寺に迷惑をかけてはいけないと思ひ草履を隠したそうですが、シヨウさんは自分の草履を近所の家に隠して、隙を見つけては抜け出したというエピソードを聞きました。昭和32年シヨウさんが90歳の時、菩提寺の明専寺ご住職がお仏壇でお勤めされていた時に、最初は一緒に読経をされていたのですが、そのうち声が聞こえなくなり、後ろを振り返ると静かに往生されていたとのこと。

静枝さんは、そんなシヨウさんを支えてくれた人たちへ恩返しをしたいという思いから「有縁講」を始めました。最初は多忙でご法話を聞くことのなかった静枝さんも、いつの間にか片隅でご法話を聴くようになってきました。それは、まさにシヨウさんが静枝さんを導かれたのでしょね。

有縁講は連綿と引き継がれ、2018年に60周年を迎えました。

その記録を後世に残したいという思いから映画が作成されました。

この映画は、上信越の寺院をはじめ、東京、故郷の岐阜県海津など、シヨウさんゆかりの地域の人々に取材をしながら、赤倉ホテルの歴史や今日の有縁講のあり様を織り交ぜながら、描かれています。私と坊守も少しだけ出演しております。前坊守の頃から長年有縁講に参加しておられる浄福寺の門徒さんには是非観て頂きたい映画です。



上映会場

高田世界館
 上越市本町6-14-21
 ☎ 025-520-7626

公開期間

9月28日(土)から10月11日(金)
 火曜定休

上映時間

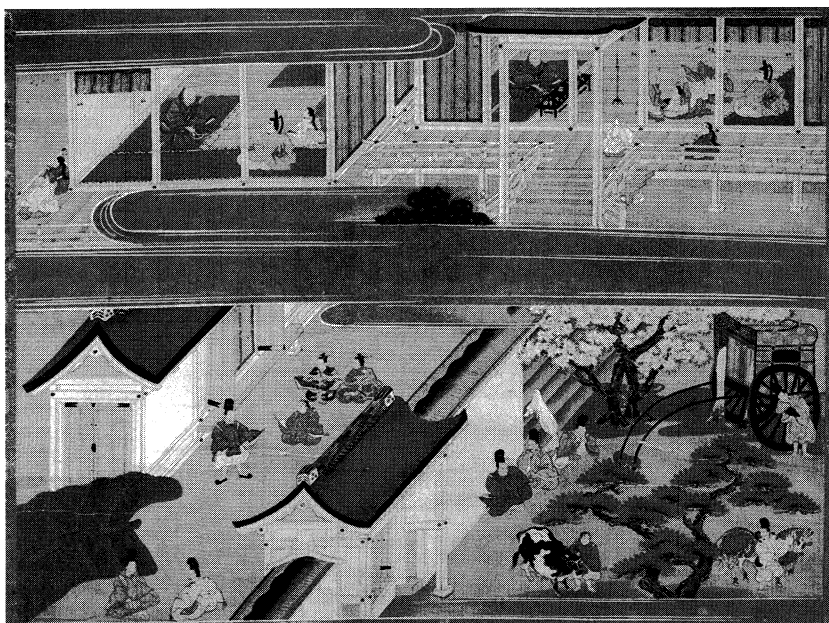
28日14時15分
 上映後に青原さとし監督のトークあり
 29日13時15分
 30日10月6日10時/14時40分
 7日11日10時/16時40分
 前売り券は浄福寺にありますので、ご希望の方はご連絡下さい。
 1枚1000円です。

『親鸞聖人御絵伝』～絵で見るご生涯とご事績～その1

令和2年10月24・25日には、国府別院にて本願寺第25代専如ご門主をお迎えしての二大法要が勤まります。それに先立って募財を納めて頂きました方には心より感謝し御礼申し上げます。

つきましては、この法要を機会に親鸞聖人と妻の恵信尼様についてより深く知って頂きたいと思ひ、『親鸞聖人御絵伝』について少し説明をさせていただこうと思ひます。

この『御絵伝』は、現在のアニメーションと同じようなものであり、報恩講のときにだけ余間にお掛けするもので、日頃は掛けません。



第一幅第一図と第二図「出家学道」

平安末期、平氏や源氏が実権を争う乱世に、聖人は京都でお生まれになりました。

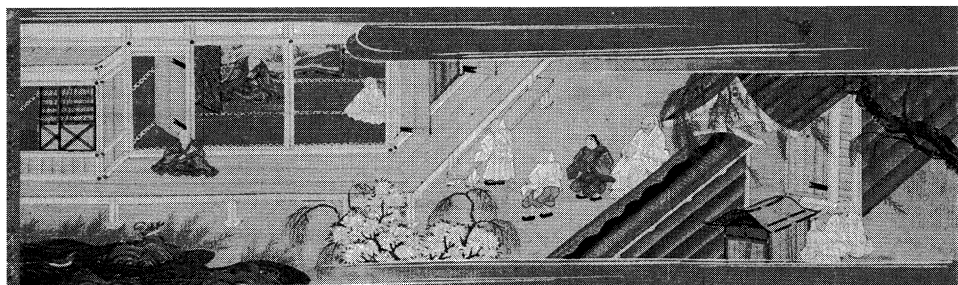
聖人の出家前の俗名は藤原氏で、藤原鎌足の流れを汲む日野家となり、父君は有範と申されます。

もし、朝廷にお仕えすることがあれば高位高官が約束されていたにもかかわらず、出家なされました。

御絵伝に桜が描かれていますが、これには意味があります。聖人が出家をお願いしたときは、もう夕方であり、慈円僧都は明日にしようと思われたとあります。それを聞いた聖人が「明日ありと思ふ心のあだ桜、夜半に嵐の吹かぬものかは」（明日があると思つてはならない、今日の夜に嵐が吹いて桜が散るかもしれない。それは人の命も同じである）と述べられたとの伝承があります。しかし、一説によれば、聖人は源氏の末裔であり、このままでは平氏によって殺される可能性があるのでお得度を急いだといひます。

第一幅第三図「吉水入室」

聖人は20年の間比叡山の延暦寺で修行をしたのですが、納得できる答えを見出すことが出来ず、建仁元年（1201）年、29歳の春、法然聖人の浄土教を学ぶために吉水の禅坊を訪ねられました。



この図のなかで白い衣を着ておられるのが親鸞聖人で、聖人と対面されているのが法然聖人です。また、廊下で外を向いて座っておられるのが、法然の一番秀才とされるお弟子の善恵です。

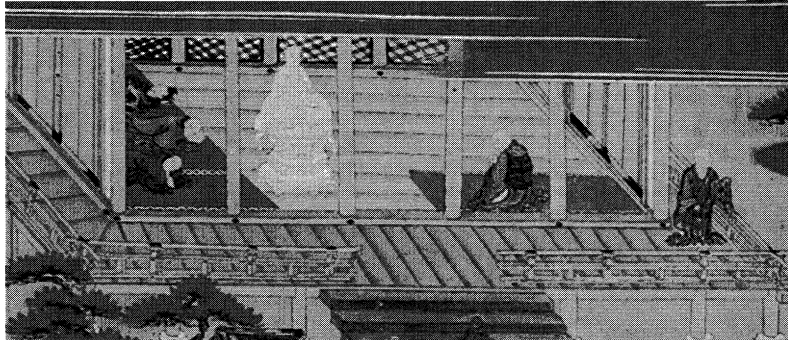
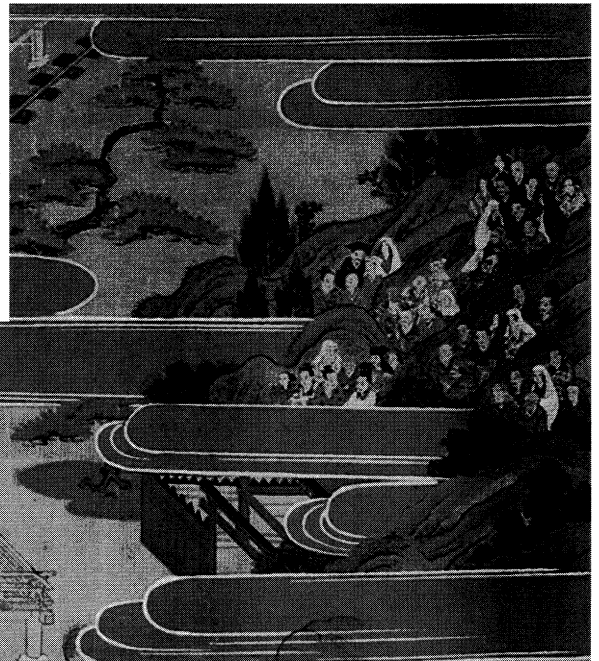
そして、彼が見ている池にオシドリが二羽描かれています。一羽は石の上に立っていて、もう一羽は水に浮いています。これは、善恵のお念仏には心の純粹さが必要であるのに対して、聖人のお念仏は、水に浮いているオシドリのように、煩惱に満ちた者がすべてを仏さまにお任せするというお念仏です。善恵のお念仏はとても難しいことであるのに対して、聖人のお念仏は誰にでも出来るということが描かれています。

第一幅第四図「六角夢想」

京都にある頂法寺六角堂に参籠された親鸞聖人は、
聖僧の姿をした救世観音より夢告を感得されました。

建仁3(1203)年、31歳のとき、4月5日の明け方、
親鸞聖人に夢のお告げがありました。

それは、六角堂の救世観音から「行者は、宿報にて
たとい女犯するとも、われ玉女の身になりて犯されん。



一生のあいだよく莊嚴したならば、臨終には引導して極楽に生ぜしめん」『女犯偈』（あなたが宿業によって妻帯するならば、玉のような美しい女性の姿になって、あなたの妻になりましょう。そしてあなたがお念仏の教えをひろめることを助け、あなたが臨終の時には極楽浄土に導き往生させましょう。）と告げられました。さらに、この内容を一切の衆生に告げるようにとの救世観音の指示により、東方の群衆にその旨を説き聞かせになっているという夢でした。

この場面はとても重要です。一番左端には寝ておられる三人のお姿が描かれています。観音さまに向かって親鸞聖人、法然聖人、九条兼実（当時は関白で、法然聖人の門下生）です。兼実が、お弟子の中から自分の娘に婿を賜りたいと申し出たところ、法然聖人は何の躊躇もなく親鸞聖人を指名されたとのこと。実は、法然聖人と兼実が同様の夢想を得ていて、二人で共謀して聖人を結婚させたようです。その兼実の娘こそが後の恵信尼様だということです。まさにここから在家仏教が始まったといえます。

第一幅第五図蓮位夢想

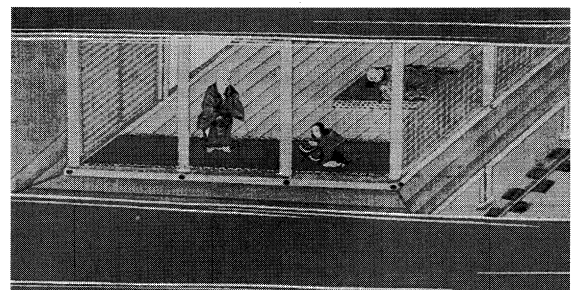
晩年、お弟子である蓮位房は、聖徳太子が親鸞聖人を礼拝されている夢告を感得されました。

この図で、左側に立っておられるのが親鸞聖人で、
敬い拜まれているのが、実は聖徳太子です。そして、
右側で寝ておられるのがお弟子の蓮位房です。この夢で
蓮位房は生涯親鸞聖人のお弟子になりました。

慶長8(1256)年、親鸞聖人84歳のとき、門弟の蓮位
房は夢告を感得されて、「聖徳太子が親鸞聖人を礼拝
しながら『私は阿弥陀如来を敬い拝みます。親鸞聖人が
この世にお出ましになったのは、尊い仏教の教えを伝え、多くの人々に無上の覚りを得させるため
です。』と仰せられました。」と、親鸞聖人が阿弥陀如来の化身であられることを明らかにされました。

後に、親鸞聖人は次のように仰せられました。

「日本で仏教を積極的に受け入れた聖徳太子が観音菩薩の化身であり、法然聖人は勢至菩薩の化身
でありますから、私はこの二菩薩のお導きによって阿弥陀如来の本願を弘めます。そのことによって
浄土真宗が興隆し、お念仏が盛んになるのです。」



清掃奉仕の御礼と次回のお願

6月2日(日)の報恩講お引き上げ前の清掃奉仕には、常任委員12名と下中山・小萱・阿弥陀瀬・川井・行法・角取・高寺の31名の皆様方からご協力をいただきました。もう4回目ということもあって、手際よく片付けて下さいました。参加して下さいました皆様には心より御礼申し上げます。



当寺の報恩講は、門信徒だけでなく、近隣寺院の御住職方や老健施設(大瀧愛宕の苑や米山の里)などからも多くの方が参拝に来られますので、きれいになった境内や本堂を見て頂くのはとても誇りに思います。今まで3回参加していただいた方には、本願寺から取り寄せた記念品を贈らせて頂きました。

また、暮れのお煤払い清掃奉仕は、12月8日(日)に3区・4区の皆様方にお願います。何卒よろしくお願ひ申し上げます。

第61回有縁講のご案内

今年も有縁講に参加致します。有縁講は『ご法話で心の垢を流し、温泉で身体を洗う』というスローガンのもと、皆でお勤めをして、ゆつくりとご法話を聴き、おいしいご馳走を頂きながら、歌や踊り、お芝居を観て、共に楽しいひと時を過ごします。

この有縁講が今日まで続いているのも、赤倉ホテルのご尽力と皆様のご協力があつてこそです。そのお心に応えるためにも私達も大勢参加して、ますます有縁講を盛り上げていきたいと思ひます。どうぞお誘いあわせてご参加下さい。



期 日 令和元年11月20日(水)～21日(木)
 費用 15,000円
 持ち物 20日の昼食 お念珠 着替え 洗面道具 保険証 常備薬など
 集合場所 20日柿崎地区公民館前10時出発
 帰りは21日柿崎着16時半頃 あるいは道の駅での買い物や恵信尼さま会館参拝などを予定しています。
 宿泊場所 赤倉ホテル(TEL 0255-87-2001)
 申込み切 10月31日
 定員 45名

第7回

『チャリティーコンサートin浄福寺』のご案内

今年も「チャリティーコンサート」を開催いたします。今回はソプラノの歌声の他に三味線やケーナの演奏があります。参加費は無料ですが、チャリティーですので募金箱を設置します。ご協力をお願い致します。

観客が多いほど演奏する方々の張り合いになりますし、浄福寺で開催して良かったと思つて下さいます。素敵な時間を共に楽しみましょう。

日時 令和元年11月17日(日)
 13時30分開場 14時開演

会場 浄福寺本堂
 クレア、H2、五十嵐澄子、

出演者 榎井沙弥・太田綾希、マリキータ

曲目 世界の果てに・また君に恋してる・窓・糸・いい日旅立ち 他



榎井沙弥さん、後ろがMariさん

後記

今後皆様方からの本誌へのご要望・ご意見、そしてご投稿をお気軽にお寄せ下さいます様お願ひ申し上げます。

印刷 株小田